

取扱説明書

日立浅深両用ポンプ用
日立深井戸ポンプ用

深井戸ジェット

HITACHI
Inspire the Next

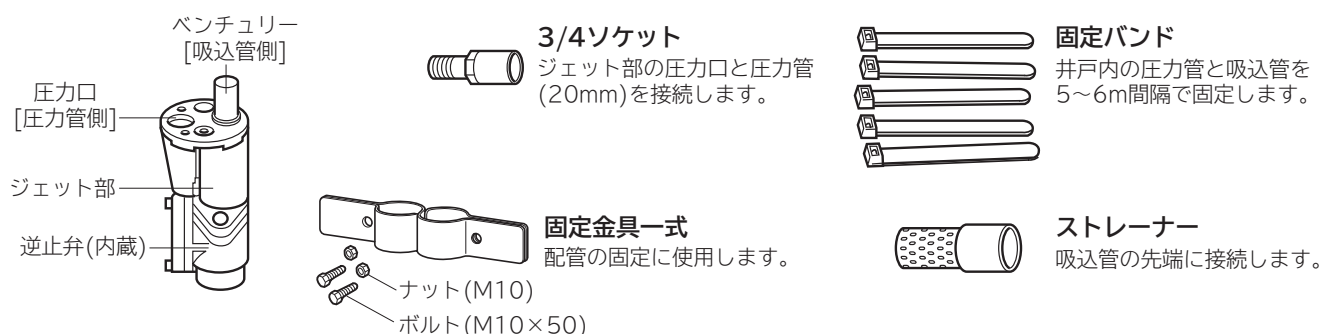
J15-12X形・J25-12X形・J40-12X形・J75-12X形・J25-24X形・J75-24X形・J75-35X形

このたびは深井戸ジェットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
お買い上げの部品は、「日立浅深両用ポンプ」「日立深井戸ポンプ」と組み合わせて使用していただくものです。

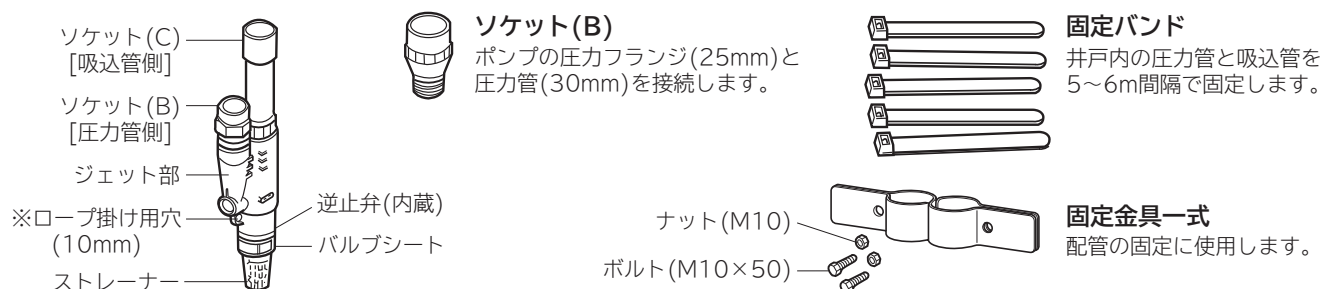
- 据え付けは専門工事が必要です。販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
- この説明書は、ポンプ本体に付属している説明書とともに大切に保存してください。

部品の名称と使いかた

J15-12X



J25-12X、J40-12X、J75-12X、J25-24X、J75-24X、J75-35X



※メンテナンス時などにジェットを引き上げるためのロープを取り付ける場合は、ロープ掛け用穴(10mm)にロープ(市販品)を取り付けてください。

据付工事について（販売店様・工事店様用）

据え付け前の確認

「ポンプ」と「深井戸ジェット」の組み合わせ確認

下表の組み合わせであることを確認してください。

※圧力不足や揚水量不足などを防ぐためです。

ジェット型式	ポンプ型式	吸上高さ
J15-12X	CT-P150	7m～12m
J25-12X	CT-P250、CT-K250、CM-P250	7m～12m
J40-12X	CT-P400、CT-P600(W形以前のもの)、CM-P400、C-P400	7m～12m
J75-12X	CT-K750、CT-P600(X形)、CM-P600、CM-K750、C-K750	7m～12m
J25-24X	CT-P250、CT-K250、CM-P250	12m～24m
J75-24X	CT-P400(W形以前のもの)、C-P400、DM-P400	12m～18m
	CT-P400(X形)、CT-P600、CT-K750、CM-P400、CM-P600、CM-K750X、DM-P600、DM-K750	12m～24m
J75-35X	CT-P400、CM-P400、C-P400	18m～30m
	CT-P600、CT-K750、CM-P600、CM-K750、C-K750、DM-P600、DM-K750	24m～35m

配管工事について

ジェットの型式によって施工方法が異なります。お使いのジェットの型式をご確認ください。

J15-12X

1 ジェット部の接続

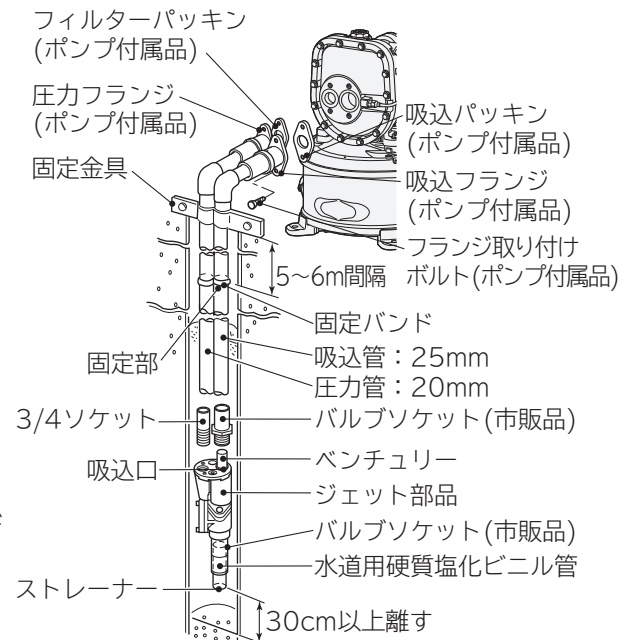
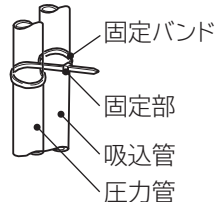
水道用硬質塩化ビニル管によって、吸込管(25mm) 圧力管(20mm)をそれぞれ配管します。
ジェットと圧力管20mmとの接続には、付属の3/4ソケットをお使いください。

2 固定金具の取り付け

ジェット部および配管質量がポンプに加わらないように吸込管、圧力管をしっかりと固定してください。
固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが傾き水平に設置できません。

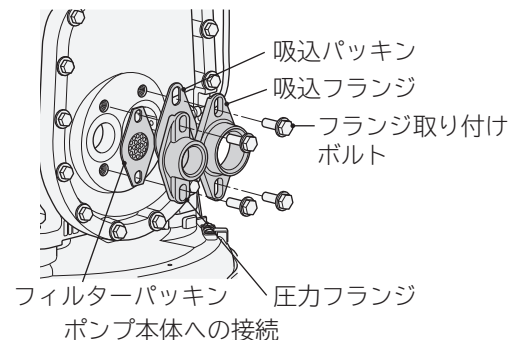
3 固定バンドの取り付け

- 井戸の中に入る吸込管と圧力管の広がりなくすため、5~6m間隔で取り付けてください。
- 固定バンドは8の字形に取り付けてください。
77mmの井戸径に施工する場合は、固定バンドの固定部が吸込管と圧力管との間に来るよう、位置を調整してください。



4 ポンプ本体への接続

ポンプ本体付属の圧力フランジ、吸込フランジ、フィルターパッキン、吸込パッキン、フランジ取り付けボルトを用いて、吸込管と圧力管を配管してください。



ご注意 ジェットは分解しないでください。水が吸上がらないなどの不具合の原因になります。

J25-12X、J40-12X、J75-12X、J25-24X、J75-24X、J75-35X

1 ジェット部の接続

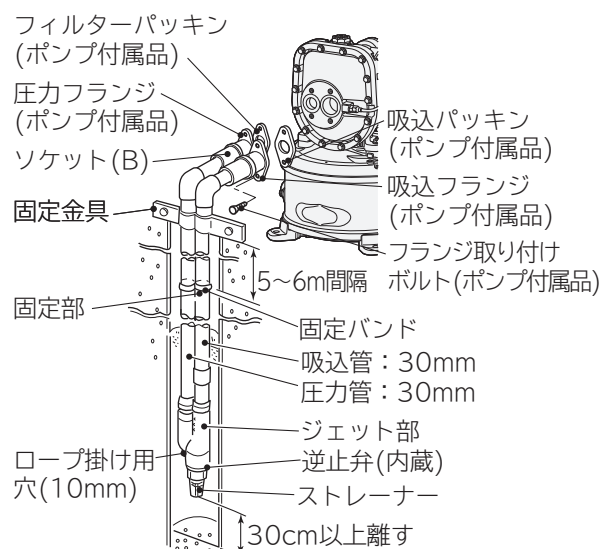
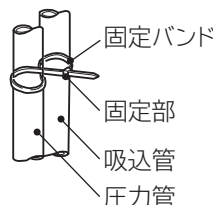
30mm水道用硬質塩化ビニル管によって配管します。
※メンテナンス時などにジェットを引き上げるための
ロープを取り付ける場合は、ロープ掛け用穴(10mm)
にロープ(市販品)を取り付けてください。

2 固定金具の取り付け

ジェット部および配管質量がポンプに加わらないように
吸込管、圧力管をしっかりと固定してください。
固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが
傾き水平に設置できません。

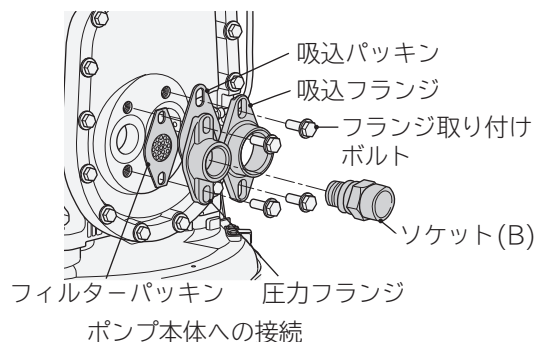
3 固定バンドの取り付け

- 井戸の中に入る吸込管と圧力管
の広がりなくすため、5~6m
間隔で取り付けてください。
- 固定バンドは8の字形に取り付
けてください。
100mmの井戸径に施工する場
合は、固定バンドの固定部が吸
込管と圧力管との間に来よう、
位置を調整してください。



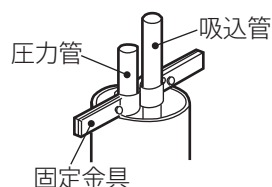
4 ポンプ本体への接続

ポンプ本体付属の圧力フランジ、吸込フランジ、
フィルターパッキン、吸込パッキン、フランジ
取り付けボルトとジェットに付属のソケット(B)
によって、圧力管、吸込管を配管します。



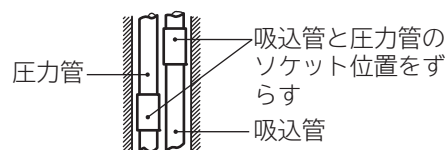
5 吸込管と圧力管の見分け

配管に定尺管を用いると吸込側
は圧力側より高くなります。
これにより、吸込側と圧力側を
判断しポンプを接続します。
(逆になると揚水しません)



ご注意

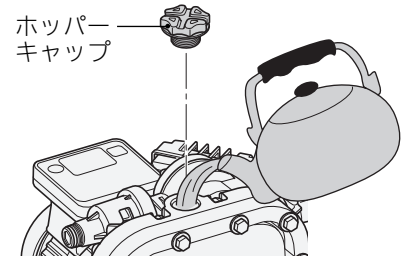
- 井戸径が100mmの場合は、井戸へ挿入可能にするため、
吸込管と圧力管のソケット位置をずらしてください。
- 吸込管と圧力管は同径です。ポンプ本体の吸込口、圧力口
への接続を間違わないようにご注意ください。
- ジェットは分解しないでください。水が吸上がらないなど
の不具合の原因になります。



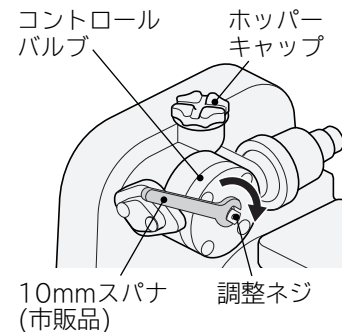
運転について

- 1 ホッパーキャップを外し、吸込管、圧力管、ポンプヘッド内に呼び水を十分に入れる
- 2 ホッパーキャップをしっかりねじ込む
- 3 コントロールバルブの調整ネジを、ネジ部が隠れる程度までねじ込む
- 4 同時に使う水栓を開く
- 5 電源プラグをコンセントに差し込む
- 6 運転開始後、揚水することを確認する
数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。
- 7 コントロールバルブの調整ネジを少しずつ緩め、音が大きくなったら半回転から一回転ほどしめ直し、音が静かになる位置に調整する

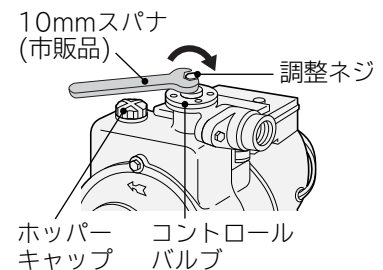
据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水を入れます。モーター、コントローラー、リアクトルなどの電気部品に水がかからないように注意してください。



自動ポンプの場合



非自動ポンプの場合



- ご注意**
- W形以前のCT-P150にコントロールバルブはありませんので調整は必要ありません。
 - 空運転によるポンプの傷みを防ぐため、ポンプに呼び水をしない状態で運転しないでください。
 - 電源プラグをコンセントに差し込むと、ポンプは自動的に運転しますので注意してください。

この製品は日本国内用です。海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

 日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111